是正報告書

提出先	大川建設株式会社 山田ビル作業所 安全担当 殿	**提出日**	2026年10月22日
会社名	鈴木電設株式会社	**報告者**	現場代理人 鈴木

指摘日時	2026年10月20日 10:30 頃	**指摘者**	元請の安全パトロール
場所	3階 EPS 電灯分電盤	**作業内容**	照明回路の切替作業
危険度	A（重大・当日是正）	**是正期限**	2026年10月20日

1. 指摘事項

3階 EPS 電灯分電盤で停電作業中のブレーカーに「投入禁止」の施錠がなく、誰でも投入できる状態だった。（2026年10月20日 10:30 頃・元請の安全パトロールにより指摘。作業内容：照明回路の切替作業、当事者：当社の作業員）

2. 原因

【直接原因】
・短時間の作業のため札を省略した。
・札・施錠具を用意していなかった。
【間接原因（4M）】
・人（Man）：自分以外が投入するとは考えていなかった。
・設備・機材（Machine）：「作業中・投入禁止」札や施錠具が現場になかった。
・方法・手順（Method）：作業手順書に停電範囲が具体的に書かれていなかった。
・管理（Management）：停電作業の届出・周知（誰が・どこを・いつまで）の仕組みがなかった。

3. 是正処置

1. 直ちに札と施錠をし、鍵は作業責任者が保管した。
2. 停電範囲と作業時間を関係者に周知した。
（是正完了：2026年10月20日　確認者：職長 山本）

4. 再発防止策

1. 停電作業は「切る・札・施錠・検電・接地」を手順化し、札と施錠具を電気担当が常備する。
2. 停電作業は事前に届出し、朝礼で範囲と時間を周知する。
3. 復電は作業責任者の点呼と合図で行う。

5. 水平展開

・全班に停電・検電・養生の手順を再周知し、活線近接作業の有無を朝礼で確認する。
・仮設電気・既設回路の系統図を作業員が見られる場所に掲示する。

6. 効果の確認

是正後2週間、活線近接・停電作業の開始前に電気担当が検電・養生を立会い確認する。
是正期限：2026年10月20日（危険度 A）
是正責任者：職長 山本

是正前（写真）	是正後（写真）

是正責任者	職長 山本	**元請 確認**	